

# 広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]  
(平成22年2月解析分)

## 1 疾患別定点情報

### (1) 定点把握(週報)五類感染症

平成22年1月分(平成22年1月4日～1月31日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	3,099	6.74	12.11	↓	10	百日咳	29	0.10	0.02	↘
2	RSウイルス感染症	405	1.41	0.96	↘	11	ヘルパンギーナ	6	0.02	0.02	
3	咽頭結膜熱	69	0.24	0.32	↘	12	流行性耳下腺炎	278	0.97	0.77	↗
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	228	0.79	1.14	→	13	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.02	
5	感染性胃腸炎	4,263	14.80	11.32	↑	14	流行性角結膜炎	62	0.82	0.85	→
6	水痘	377	1.31	1.90	→	15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
7	手足口病	132	0.46	0.11	↘	16	無菌性髄膜炎	2	0.02	0.03	
8	伝染性紅斑	21	0.07	0.17	→	17	マイコプラズマ肺炎	4	0.05	0.25	
9	突発性発しん	145	0.50	0.53	↘	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	

### (2) 定点把握(月報)五類感染症

平成22年1月分(1月1日～1月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	53	2.30	2.09	↗	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	123	5.86	5.45	↗
20	性器ヘルペスウイルス感染症	16	0.70	0.66	↗	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	35	1.67	1.49	→
21	尖圭コンジローマ	9	0.39	0.50		25	薬剤耐性緑膿菌感染症	3	0.14	0.13	
22	淋菌感染症	34	1.48	0.97	↗						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当り)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

### 急増減疾患!!(前月比2倍以上増減)

- 急増疾患 感染性胃腸炎(1,751件→4,263件)
- 急減疾患 インフルエンザ(13,786件→3,099件)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象21疾患,月報対象7疾患)について,県内178の定点医療機関からの報告を集計し,作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	19～22	15～18, 23～25	
定点数	43	72	19	23	21	178

## 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	39	結核〔広島市保健所(23), 福山市保健所(4), 西部保健所(5), 西部東保健所(2), 東部保健所(2), 北部保健所(3)〕
三類	0	発生なし
四類	1	A型肝炎〔広島市保健所〕
五類全数	3	アメーバ赤痢〔広島市保健所〕, クロイツフェルト・ヤコブ病〔広島市保健所〕, 後天性免疫不全症候群〔広島市保健所〕

## 3 一般情報

### (1) 平成21年4月から12月までの麻しん風しん予防接種(第2期～第4期)実施状況

(単位;%)

	平成18年度	平成19年度	平成20年4月 から12月	平成20年度	平成21年4月 から12月
第2期 【全国】	78.0 【調査なし】	89.7 【調査なし】	67.6 【66.4】	90.6 【91.8】	69.1 【67.3】
第3期 【全国】			66.9 【66.1】	81.0 【85.1】	69.4 【65.8】
第4期 【全国】			61.2 【58.1】	74.1 【77.3】	60.7 【56.6】

麻しんを排除するために、平成20年4月から、市町が実施する定期予防接種の対象者に、中学1年生、高校3年生相当の年齢の者を追加し(対象拡大は平成24年度までの5年間)、麻しんの流行を阻止するために95%以上の接種率が目標とされています。

1回の予防接種では、抗体が下がり、罹患する例が報告されています。特に麻しん(はしか)の予防接種については、次の方は無料接種の対象時期が3月31日で終了し、以後は実費での接種になります。風しんの予防接種も無料で接種できます。是非、この機会に接種しましょう。

麻しん風しんの予防接種を無料で受けることができる方	
第1期	生後12月から24月に至るまでの間に有る子
第2期	平成15年4月2日から平成16年4月1日の間に生まれた子
第3期	平成8年4月2日から平成9年4月1日の間に生まれた子
第4期	平成3年4月2日から平成4年4月1日の間に生まれた子

無料期間は平成22年3月31日まで



### (2) 3月1日(月)～3月7日(日)は子ども予防接種週間です。

この週間は、予防接種に対する関心を高め、予防接種率の向上を図ることを目的に定められたものです。

期間中は、医療機関の協力により、平日のほか、土曜日、日曜日の接種を行う医療機関があります。

受診日時や予約受付は医療機関により異なりますので、事前に各医療機関にお問い合わせください。

**3/1(月)～3/7(日)は  
子ども予防接種週間です。**

4月からの入園・入学に備えて、  
必要な予防接種をすませ、  
病気を未然に防ぎましょう。

### (3) インフルエンザ警報の解除について

広島県感染症発生動向調査による平成22年第4週(1月25日から1月31日)の定点医療機関から報告のあったインフルエンザ患者数が、県内の全ての保健所管内(7保健所)で、国立感染症研究所感染症情報センターが示している警報継続基準値(定点当たり10人)以下となり、県内全体で定点当たり4.37人(定点115医療機関からの報告数503人)と減少しました。

このため、平成21年11月4日に発令した「インフルエンザ警報」を平成22年2月4日に解除しました。

なお、全国的には、患者数が減少した後、再び感染が拡大している地域もありますので、引き続き、感染予防に取り組んでいただき、今後の情報に注意してください。